

## 「情報公開文書」

医学部 HP 掲載用

受付番号： 2021-1-655

### 課題名：漢方医学教育に関する調査研究

#### 1. 研究の対象

研究対象者は2012年度～2021年度に東北大学医学部に在籍した学生です。

研究期間は2021年10月(倫理委員会承認後)～2026年9月

登録期間は2021年10月(倫理委員会承認後)～2022年9月30日

調査期間は2021年10月(倫理委員会承認後)～2023年3月31日です。

匿名化した上で研究や発表を行います。

#### 2. 研究目的・方法

2017年改訂版医学教育モデル・コア・カリキュラム(以下、コアカリ)において漢方医学教育は必修となりました。また、医学教育分野別評価基準日本語版Ver.2.2(以下、分野別評価)においても、日本の伝統医学である漢方の教育が必修となりました。その後、全国医学部における漢方教育の標準化が進み、全国医学部の漢方教育担当で構成された、日本漢方医学教育協議会(以下、協議会)では、コアカリ改定に基づく漢方教育の標準化を目標に基盤カリキュラムの作成に取り組んできました。協議会では漢方教育ニーズ調査、教育目標の設定、必要な時間数等についてコンセンサスマーケティングを繰り返し、「漢方医学卒前教育の基盤カリキュラム2016」を定め、2019年の協議会では全医学部で行うミニマムスタンダードの講義内容が決定し、共通化された講義スライドとガイドを作成、公開し、2019年以降は各大学の教育目標に沿ったカリキュラムにこれら講義をどのように導入していくかが課題となっています。また、コアカリ改定により、学習成果基盤型教育、多職種連携、診療参加型実習、シミュレーション教育、アクティブラーニングが推奨されたこと、さらには分野別評価において実習時間の増加やフィードバックの重要性が指摘されたことから、多職種連携を踏まえた討論、診療参加型の漢方実習の工夫が必要となってきています。しかしながら、多職種連携を踏まえた議論、方略の工夫などの実践・教育成果の報告は少ない現状にあり、教育カリキュラム策定の参考となる情報の共有が求められています。

本学医学部では、2012年より全国に先んじて

1年次 早期臨床体験実習

2年次 Problem Based Learning) PBL

3年次 基礎薬理学講義

4年次 臨床薬理講義

### 5年次 臨床実習

を開始し、卒前における一貫した漢方医学教育のプラットフォーム構築を行ってきました。全国での漢方医学教育の発展のため、本調査では本学医学部における漢方医学教育における方略と評価、目標に対する成果の報告を行うべく調査を行います。

本研究により漢方医学教育の方略と評価、目標に対する成果の一端が明らかとなり、全国における漢方医学教育発展に貴重な情報となります。

リスク／ベネフィット：データは匿名化し解析を行うことからリスクやベネフィットは考えにくいです。

本研究を実施するにあたり、倫理的、科学のおよび医学的妥当性の観点から倫理委員会が審査し、研究機関の長による承認を得ます。

対象は、過去に医学教育を受けた本学医学生で、匿名化の上で下記の調査をします。

経済的な負担はありません。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目：対象者の年齢、性別などの属性と

- 1 年次 早期臨床体験実習（アンケート）
- 2 年次 PBL（アンケート）
- 3 年次 基礎薬理学講義（筆記テスト）
- 4 年次 臨床薬理講義（筆記テスト）
- 5 年次 臨床実習（アンケート、筆記テスト）

などに関連するデータを後ろ向きに調査します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 5. 研究組織

本学単独研究

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについての代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL：022-717-7507

東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科

高山 真

研究責任者

東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科

高山 真

#### ◆利益相反について

(本学では、研究責任者のグループが公平性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。)本研究は、日本漢方医学教育振興財団研究助成(Japan Kampo Medicine Education Foundation Grant for 2018)を財源として実施します。研究責任者である高山真准教授、研究責任者の所属分野の長である石井正教授は、(株)ツムラとの共同研究講座所属(兼任)※であり、研究分担者の菊地章子講師は、同講座所属(専任)※です。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合はその都度、東北大学利益相反マネジメント委員会へ申告し審査を受けることにより、本研究の利害関係についての公正性を保ちます。

※兼任：東北大学に雇用された教員であり、共同研究講座の所属を兼ねている。専任：東北大学に雇用された教員であり、共同研究講座の契約相手先企業から受入れた研究費にて雇用されている。

※東北大学における共同研究講座制度については、以下をご参照ください。

[https://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/information/kyodo\\_koza/](https://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/information/kyodo_koza/)

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合

2021年9月11日作成 第1.1版